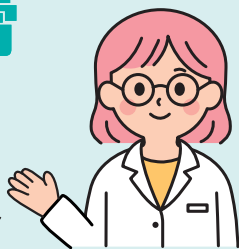




タクロリムス軟膏 0.1%「イワキ」を ご使用される患者さまへ



1

このお薬の特徴

このお薬は、アトピー性皮膚炎でみられる皮膚の炎症(湿疹)を抑えるお薬です。ステロイド外用薬で効果が不十分な場合や副作用が懸念される場合に使用されることがあります¹⁾。炎症を抑える強さはステロイド外用薬の5段階の強さのうち3番目に相当するとされています²⁾。

2

このお薬を安全に使うために

① 次の場所には塗らないでください¹⁾。

- 皮膚がジュクジュクしているところ
- おできやニキビのあるところ
- 皮膚以外のところ(口や鼻の中の粘膜など)や外陰部



② 塗ったあと、一時的に塗ったところが

ほてったり、かゆくなったり、ひりひりしたりする**刺激感**が起こったり、**入浴時に刺激感**が強くなることがありますが、通常は皮膚の症状の改善とともに1週間ほどでおさまります¹⁾。

なお、保湿剤との併用により刺激感が抑えられる傾向があります³⁾。

刺激感が強かったり、おさまらないような時は、医師・薬剤師にご相談ください。

③ 1日1～2回、医師が指示した量を塗ってください¹⁾。

1回に塗る量は5g(チューブ1本)までです¹⁾。

本剤を塗る前にはよく手を洗って、清潔にしてからお使いください。
塗り終わったあとは、塗った指をきれいに拭いてください。

- ④ このお薬の使用量は、**約0.5gを手のひら2枚分の広さ**に塗布するのが目安です⁴⁾。ただし、症状の程度や医師の指示に応じて使用量は調節してください。



人差し指の第一関節までの長さ×2(約0.5g)



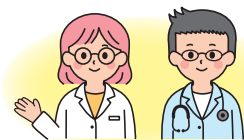
約0.5gを手のひら2枚分の広さに塗布

- ⑤ 眼のまわりに塗る場合は、**眼に入らないように**気をつけてください。
あやまって眼に入った時は、すぐに水で洗い流してください。
(刺激感があれば、眼科医の診察を受けてください。)

- ⑥ このお薬を塗ったところへの**日焼けランプや紫外線ランプ**のご使用は避けてください。
また、塗ったところへあたる**日光**の量もできるだけ少なくし、帽子や衣服などで強い日差しを避けてください¹⁾。



- ⑦ このお薬を**2週間塗り続けても症状が良くならない**場合などは、医師・薬剤師にご相談ください¹⁾。



- ⑧ タクロリムス軟膏を使用した患者さんでリンパ腫や皮膚がんが報告されたことがありますが、お薬の使用との関連性は明らかではありません。
また、日本での10年間の調査では、悪性リンパ腫、皮膚がん等の悪性腫瘍の報告はなく、海外の大規模な研究でも発がんリスクの上昇は認められません¹⁾。安心して医師の指示に従ってご使用ください。

医療機関名

参考資料

- 1) タクロリムス軟膏0.1%「イワキ」添付文書
- 2) アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024
- 3) 中原剛士, 他: 西日本皮膚 2014; 76(5): 493-497.
- 4) Long CC, Finlay AY: Clin Exp Dermatol 1991; 16: 444-447.



岩城製薬株式会社

DA-TL-P-01
2025年9月作成